



# 杉本ひろふみ 後援会だより

## VOL.2

【発行・編集】

杉本ひろふみ後援会

〒473-0911

豊田市本町高根23番地10

TEL:0565-54-4537

FAX:0565-54-4539



## しっかりと地域の声を届けます

暑かった盆踊りの季節も過ぎ、残暑が厳しい中ですが、少しずつ心地よい季節に移り変わろうとしています。

日ごろから、後援会活動につきましては、ご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。

さてこの4月から、豊田市の今後8年間の政策の柱となる「8次総合計画」がスタートしました。その中で、2027年のリニア新幹線開通にあわせた名鉄三河線の輸送力の強化は、竜神地区において日常生活に大きくかかわってくる大きな施策であり、将来を見据えながら、この地域としての要望を市政に対し訴えていかなければなりません。

具体的には、区画整理事業が終盤に差し掛かる土橋駅周辺の新しいまちづくり、そして、名鉄三河線の複線化に伴う竹村駅周辺のまちづくり、そして線路と交差する生活道路の渋滞対策であり、今後は最優先課題として取組んでいく覚悟です。

みなさんからご意見、ご指導をいただきながらしっかりと取組んでいきますので、よろしくお願い申し上げます。

豊田市議会議員 杉本ひろふみ



## 平成29年度委員会配属



### 地域生活委員会 【副委員長】

地域振興部、上下水道局、消防本部の市民の生活に一番密接な3部署を所管します。

市民生活において、防災、防犯、交通安全、上下水道事業と、安全で安心して生活することのできる地域社会の実現を推進します。



### 豊田スタジアムを生かした まちづくり特別委員会

ラグビーワールドカップ2019の開催地として、その大会の成功と、大会後の今回の経験を生かしたスポーツ振興を生かしたまちづくりについて、調査・研究を行います。



## 1. 議会報告

### 平成29年3月定例会

一般  
質問

#### 〔代表的な質問〕 特別養護老人ホームについて

特別養護老人ホームは、入所待機者の数字の割には、空床が出てもなかなか埋まらないという声を事業者から聞く。現時点での入所待機者の実情についてお聞きする。



#### 〔その答弁〕（答弁者 市民福祉部 伴部長）

特別養護老人ホームの入所待機者数は、平成28年9月末現在で405人となっているが、特に早急に入所が必要と判断される方は184人となっている。

統計上はこうした数値となるが、特別養護老人ホーム事業者からは、施設に空きができ、申込者に入所を促しても「まだ先でよい」という方も多いと聞いている。

今後は必要とされる方がスムーズに施設を利用できるよう、ケアマネジャーに現状を周知するなど、丁寧に対応していきたいと考えている。

## 2. 常任委員会視察報告

（7月18日～20日 千葉市、青梅市、海老名市）

#### 消防活動用ドローンの取組（千葉市消防局）

消防活動用のドローンは、大規模災害が発生した地域で、迅速な情報収集ができる新しい災害対応の機材として、注目が集まっています。

豊田市においても民間企業と連携して、災害時にドローンを活用して、どのような情報収集や、災害現場での効果的な活動ができるか、操縦者の確保も含め、運用の研究が始まっています。

日ごろの訓練では、ドローンの飛行空域の制限など、課題が多いのが現実ですが、災害の状況に係らず、リアルタイムで空撮された情報を入手できるのは大きな魅力です。また、ドローン機材自体の進歩も目覚ましいものがあり、災害時の運用に大いに期待できる機材となっています。



千葉市消防局は平成28年3月に総務省消防庁から配備され、活用方法を模索中

## 3. まちづくり懇談会を開催

#### 各地区のまちづくりのテーマはそれぞれにある!!

4月に入って、この2年間懸案になっていたまちづくり懇談会をそれぞれの地区で開催することができました。

懇談会では、選挙のときの要望の報告をはじめ、竹村・土橋駅周辺の街づくりや、それぞれの地域で生活する中での課題等多くの意見交換をすることができました。

いただいた貴重なご意見を、今後の活動に生かして頑張っていきます。



開催日	地区名
4月16日	竹・住吉
5月14日	竹中
5月28日	竹下
6月 4日	竜神
6月11日	本町
6月18日	宝町・西田町
6月25日	土橋
7月 2日	清水団地

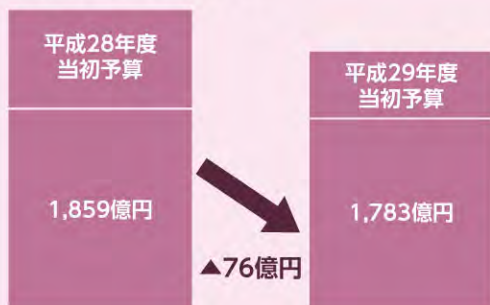


## 4.平成29年度 予算関係

### ●一般会計当初予算の総額

平成28年度と比較して76億円の減収となっていますが、28年度の決算と比較すると、約200億円の減収になります。

今後は、歳入において、法人市民税の国税化、合併特例の交付金の打切り等厳しい状況となります。



### ●平成29年度は大きな節目の年

#### 第8次豊田市総合計画がスタート

##### ～将来都市像～

つながる つくる 暮らし楽しむまち・とよた

##### ～重点施策～

- (1) 超高齢社会への適応
- (2) 産業の強靱化
- (3) 暮らしよし・訪れてよしの魅力創出

#### ■豊田市駅前通り北地区市街地再開発事業の完成

- ・11月に再開発ビル「KITARA」がオープン
- ・市街地再開発の集大成

#### ■歳出の特徴

福祉に関する扶助費、補助費等は今後増加にあり、まちづくりに直結する普通建設事業費は、北地区市街地再開発事業の終了や小中学校の校舎等の保全改修事業が一段落することによって、約56億円減少となりますが、全体では360億円の予算を確保しています。



## 5.福祉の支援窓口開設

### ●豊田市成年後見支援センターと健康と福祉の総合相談窓口が開設

認知症や知的障害、精神障害などにより、物事を判断することが十分でない人の権利を擁護する成年後見制度を支援していく豊田市成年後見支援センターが、7月1日豊田市福祉センター内に開設されました。

(連絡先 63-5566)

また、健康と福祉について、一元的に相談に応じる健康と福祉の総合相談窓口が高岡支所内に開設されました。この窓口では、問題を整理して、一番適した部署に繋げる役割を担っています。



- ・連絡先  
(福祉の関係) 85-7720  
(健康の相談) 85-7710

## 6.逢妻男川の外来種駆除

### ●ミシシッピーアカミミガメの一斉駆除が行われる

6月9日から3日間、逢妻男川において、昨年10月の矢作川研究所のアカミミガメの生態調査をもとに、6月の産卵期の前に一斉に駆除が行われました。

駆除作業には、地元の竹中ビオトープの愛護会のほか、トヨタ自動車(株)堤工場のメンバーも参加し、3日間で約500匹の亀を捕獲しました。

そのうち380匹がアカミミガメで、すっぽんなどの在来種は、もとの川に戻されました。







# 竜神地域のTopics トピックス



## ●土橋自治区防災フェスタ ビニール袋でご飯を炊く!?



5月13日(土)土橋自治区主催による防災フェスタが開催されました。

当日はビニール袋で、ご飯を炊く炊き出し訓練と救命講習会が開催され、多くの区民が参加しました。



## ●土橋区画整理事業 名鉄線を越える跨線橋の工事始まる

8月2日、超大型クレーン車を使った逢妻男川と名鉄三河線の上を走る跨線橋の工事が始まりました。来年3月末には完成する予定です。



## ●今年も元気にぼんつく大会が開催 泥んこの中でウナギと格闘!!?

7月16日(日)、第21回の竹村ぼんつく大会が竹町の田んぼで開催されました。

このイベントは「逢妻男川に親しむ会」と「ぼんつく実行委員会」の共催で行われ、今年で21回を数える、夏休みの恒例行事となっています。



こどもたちは、合図とともに、いっせいに田んぼに飛び込み、ウナギを目指していきました。

このぼんつく大会の開催には、多くの地元企業のご理解とご協力のもとで開催されており、深く感謝申し上げます。



## Snapshot スナップショット

### 三浦たかし後援会 伊勢神宮参詣の旅



1月20日(金)恒例の三浦たかし後援会主催の伊勢神宮参詣の旅のひとつです。

当日はたいへん天気がよく、最高の参拝日和でした。今年度は、1月19日(金)の開催になります。

多くの後援会のみなさまの参加をお待ちしています。



## 編集後記

9月といえば防災月間です。特に近年は、思いもよらない大災害が、頻繁に発生します。台風、地震、集中豪雨による河川の氾濫や土砂災害に加え、近年ではさらに竜巻、短時間とはいえ時間雨量100ミリを越すゲリラ豪雨と、狭い地域での大きな災害も増えています。

もしものときに、一番大切なのは、水や食料の確保も重要ですが、普段から声を掛け合える地域コミュニティが一番大切であると、7月に視察に行った熊本市で聞いてきました。

何かあれば「おたがいさま」とお互いに支えあえるまちづくりは、竜神地域の大きな財産となります。



## お問い合わせ先

ご意見・お問い合わせは、右記よりお願いいたします。皆様より頂いた貴重なご意見は、今後の活動に活かしてまいります。



## 杉本ひろふみ後援会事務所

〒473-0911 豊田市本町高根23番地10  
TEL / FAX : 0565-54-4537